

## 郷土歴史資料館 だより

### 夏季企画展 展示資料紹介 はなのたに 「花野谷1号墳の玉類」

現在開催中の企画展「あわらの古墳せいぞろい～福井平野との比較～」の展示資料の中から、市内の古墳と比べて古い福井市の「花野谷1号墳の玉類」を紹介します。

花野谷1号墳は、直径約20mの円墳で、福井市東部、岡保地区の花野谷集落北側の丘陵上にありました。県内の古墳でも初期にあたる3世紀の終わりごろに造られたとされています。

1号墳の埋葬施設内から、ヒスイ製の勾玉やガラス製の小玉など、計100点以上の玉類が、連なった状態でまとまって出土しています。そのため、玉の孔にひもなどを通して数珠つなぎし、首飾りとして使用されていたと考えられています。

これらは、全て県指定文化財(考古資料)になっています。この機会に市内の稲荷山古墳出土の玉類などと見比べてみてください。



▲花野谷1号墳から出土した玉類  
(福井市教育委員会所蔵)

### 夏休みイベント 「学芸員イチオシ！あわらのスポット」

郷土歴史資料館の学芸員がおすすめる市内の歴史的スポットを、パネルで紹介いたします。皆さんが住んでいる地区のお宝が登場するかもしれません。

身近な地域の文化財を知って、夏休み期間に巡ってみてはいかがでしょうか。

とき 7月16日(土)～9月11日(日)  
ところ 郷土歴史資料館 エントランス  
入場料 無料



郷土歴史資料館(金津本陣 IKOSSA 2階)  
休館日 月曜日・第4木曜日(祝日の場合はその翌日)

開館時間 9時30分～18時(最終入館17時30分)  
問合せ ☎73-5158 FAX73-1038 ✉maibun@city.awara.lg.jp

## 消費者センターだより

### 子どものインターネット利用 家庭でのルールを考えてみましょう

もうすぐ夏休みが始まります。ゲームや動画配信などを見る時間が増える時期ではないでしょうか。最近、オンラインゲームでアイテムやキャラクターなどを手に入れようとしていたり、ライブ配信サービスで「投げ銭」(動画配信者に対し、視聴者が金銭などをオンライン上で送金や提供するもの)をして、保護者の知らないうちに子どもが課金するトラブルが増えています。

端末に登録済みのクレジットカード情報で決済ができたり、保護者に無断でクレジットカードを持ち出すことや、保護者が設定したパスワードを知りキャリア決済(月々の携帯電話料金とまとめて支払えるサービス)を使用することなどがあり、低年齢の子どもだと課金に気付かないまま遊んでいることもあります。

インターネットを利用するときのルールを家族でよく話し合い、楽しく遊みましょう！

#### 【トラブルにならないために】

- ・フィルタリング(インターネットの閲覧制限)やペアレンタルコントロール(子どもにとって好ましくない内容のコンテンツなどの利用や閲覧の制限を設ける機能)を利用しましょう。
- ・クレジットカードやキャリア決済の暗証番号は、しっかり管理しましょう。
- ・子どもがサービスを利用するときは、保護者が一緒に契約内容を確認しましょう。



消費者庁 消費者ホットライン188  
イメージキャラクター  
「イヤヤン」

困ったときは一人で抱え込まず、消費者センターにご相談ください。

問合せ 消費者センター ☎73-8017

消費者ホットライン ☎188(局番なし)

「泣き寝入りは、いやや(188)！」で覚えてね！

## 認知症をよく知り、助け合おう！

市では、地域の高齢者が認知症になっても、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう認知症サポーターの養成に取り組んでいます。

### 認知症サポーター養成講座とは？

養成講座では、認知症について正しく理解してもらうために、基礎知識や認知症の人との接し方を中心に「キャラバン・メイト」が講師となってお話しします。講座の時間は1時間から1時間半程度です。受講者には、サポーターの目印となる「オレンジリング」を配布します。

地域(自治会、老人クラブ、子ども会)、団体(銀行、警察、郵便局、スーパー、コンビニエンスストアなど)、学校や職場などで養成講座を受け、認知症の人への対応方法を学び、日ごろからできることを考えていきましょう。少人数からでも講座を受けることができます。

### 認知症サポーターとは？

認知症サポーターとは、養成講座受講者で認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者のことです。

市では、認知症サポーター養成講座の開催を推進し、「認知症になっても地域の中で安心して暮らすことができる社会」の実現につなげたいと考えています。「認知症サポーター」は、何か特別なことをするわけではなく、まずは「正しく理解すること」がスタートです。オレンジリングが「認知症サポーター」の証です。

### 講座の申し込み

会場を指定し、5人以上のグループで健康長寿課に電話(☎73-8022)または窓口でお申し込みください。

### 「認知症カフェ」に参加しませんか

市内2カ所で認知症カフェを開催しています。認知症の人やその家族、地域の人など誰もが気軽に参加でき、認知症について話することができる集いの場です。参加申し込みは不要です。

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止する場合があります。事前にお問い合わせください。

#### メロンカフェ

とき 毎月第3土曜日 13時30分～16時30分  
ところ 二面温泉区民館(二面温泉薬師堂敷地内)  
参加費 100円  
問合せ 湯のまちメロン苑 ☎77-1288



#### オレンジカフェ・あわら

とき 毎週火曜日 13時～16時  
ところ さくらセンター(あわら市清王36-20)  
参加費 100円  
問合せ 認知症キャラバンメイト  
代表 藤田 由美氏 ☎73-1347

## 熱中症に気を付けよう！ 問合せ 健康長寿課 ☎73-8023

熱中症は、高温多湿な環境に長時間いることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。

屋外だけでなく、室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡したりすることもあります。マスクを着用する機会が増えている今、熱中症について正しい知識を身に付け、体調の変化に気を付けるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

### 1 暑さを避けましょう

- ・外出時は、日傘や帽子を利用し、直射日光を受けないようにしましょう。
- ・室内では、カーテンなどで日射を遮り、適度に扇風機やエアコンを使用しましょう。
- ・感染症予防のため、窓を開けて換気を行いましょう。

### 2 適宜マスクをはずしましょう

- ・屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合には、マスクをはずしましょう。

外出時は天気予報や「暑さ指数(WBGT)」を参考に、暑い日や時間帯を避け、無理のない範囲で活動しましょう。WBGTは環境省のホームページで確認できます。

### 3 小まめに水分補給しましょう

- ・のどが渇く前に、水分を小まめに取り、汗をかいたときは、塩分の補給も忘れずに行いましょう。

### 4 健康管理をしましょう

- ・日ごろから体温測定、健康チェックをしましょう。

### 5 暑さに備えた体づくりをしましょう

- ・暑くなり始めの時期から、適度に運動をしましょう。



確認は  
こちら